

科目名		設計製図A			
担当教員		三留 正		実務授業の有無	○
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	・建築物設計における空間表現、考え方、計画の進め方を演習や課題を通して学ぶ。 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 製図用語及び製図道具の名称について解説を行い課題を通して道具の使用方法を習得する。 3. 製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 4. 木造住宅の各種図面の作図方法と木質軸組み工法の仕組を課題を通して習得する。				
学習目標 (到達目標)	・建築空間を表現、伝達する基礎的手法としての製図の知識・技術の習得 ・木造住宅の各種図面の作図方法と木質軸組み工法の仕組みを習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①初学者の建築講座 建築製図 (市ヶ谷出版)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	製図の基礎 ①製図道具の使い方・線の引き方・文字の書き方			方法：教科書、プリント等を使い説明と作図の演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントの練習課題の予習と練習	
2	木造住宅の製図 ①平面図、断面図、立面図の作図方法			方法：教科書、プリント等を使い説明と作図の演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントの練習課題の予習と練習	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			建築士試験に対応できる知識と技術を身につける事を目標に基礎的な事から学習していきます。前期では手描きでの製図の基礎である線の引き方や文字の書き方の基本を学習し丁寧な作図を身につける事を意識する。図面を読む事描く事で木造住宅の仕組みを学習する。	
20 %	80 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	設計業務、施工管理業務に22年実務に携わる				